

由利森林管理署	
タイトル	低コスト木材生産技術現地検討会
実施年月日	平成25年9月13日(金)
実施場所	秋田県由利本荘市地蔵沢国有林23林班ほ1外
参加者	局署：東北森林管理局、由利森林管理署 8名 外部：秋田県由利地域振興局、由利本荘市、にかほ市、 秋田県認定林業事業体(由利地域振興局管内)、 本荘由利森林組合、子吉川流域林業活性化センター 25名 計 33名
<p>【取組の概要】 路網整備や高性能林業機械の導入を通じ労働生産性の向上を図っていくことが、林業関係者における喫緊の課題となっている。このため、当流域の関係者による現地検討会を開催し、各主体の取組状況を紹介してもらいながら、低コスト作業に向けた問題点を洗い出した。</p>	
<p>【取組の成果】 過去の現地検討会は、国有林の請負事業者が広範囲に参加していて、意見交換では多くの事業者が発言する時間をとれなかったが、今回は流域内の認定林業事業者を参加対象としたことから、普段、民有林主体に実行している事業者の出席者が多く、民有林内の事業仕組みも紹介されたところ。 また、国の施策により昨年からは民有林の搬出間伐が増大したが、国有林の作業仕組みと基本的に相違はなく、先山ではハーベスタを使用して伐倒・木寄せ・造材を極力行う作業システムを選択。子吉川流域の各事業者ともハーベスタが機動的に動ける森林作業道づくりを目指している状況となっている。</p>	
<p>【出された意見】 高性能林業機械の修理費を少なくする方法は？普通の自動車同様に高性能林業機械も洗車しながら状態をチェックして自分でメンテナンスしている。なるべく、出張修理による出費を抑えるため作業中から機械を傷めないよう工夫が必要など、各事業者の悩みや実情を反映した様々な発言があった。</p>	
<p>【今後の課題】 似た地形の現場で同じ重機を使っても、チームワークで生産性は異なり、集材しやすいよう伐倒するなど、次の作業に配慮することで効率も上がる。低コストは作業班の意識の問題が大きいとの意見多く、各事業者で人の配置方法などを検証することが必要。</p>	

タイトル 低コスト木材生産技術現地検討会



ハーベスタによる作業（国有林）



現場での説明（国有林）



現場で意見交換（国有林）



座学形式の講演（県振興局）



座学形式で意見交換（県振興局）